

募集学科・定員・学費・各種制度

募集学科・修業年限・定員等

歯科衛生学科 昼間 3年 120名

卒業後の資格等

歯科衛生士国家試験受験資格・専門士（医療専門課程）

学費等

	1年 入学時	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	卒業までに かかる 学費等
入学金	200,000円						
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	300,000円	300,000円	
実習費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	
施設設備費	50,000円		50,000円		50,000円		
合計	700,000円	450,000円	500,000円	450,000円	450,000円	400,000円	2,950,000円

※上記学費等以外に、教材教具代・諸費が別途必要になります。

※水道光熱費・実習関連費用等、社会経済情勢に応じて追加で徴収することがあります。

ユマニテク独自の減免・給付制度

※各種制度は併用可能です。

■ 入試別減免制度

入学試験別に入学金が減免されます。

指定校推薦	一般推薦	AO
10万円減免	5万円減免	5万円減免

※ 入試日は27ページをご参照ください。

■ 名古屋ユマニテクサポーター特待生制度

※前期授業料相当額の35万円を給付。

対象者	給付額
	35万円給付

※ 詳しくは29ページをご参照ください。

■ 歯科特待生減免制度

下記A・Bいずれの条件も満たす場合は、どちらか一方を選択してください。

A 条件：出願時に下記項目のいずれかを満たす者。 減免額：1年次前期学費等より 10万円減免	チェック
① 高等学校在学中生徒会で会長及び副会長を務めた者。	
② 高等学校在学中所属のクラブ活動で部長及び副部長を務めた者。	
B 条件：出願時に下記項目のいずれかを満たす者。 減免額：1年次前期学費等より 5万円減免	チェック
① 全科目の評定平均が3.5以上の者。	
② 在籍高等学校で3年間皆勤の者。	
③ 「職業教育技術認定事業」顕彰制度にて、合計3ポイント以上を取得した者。	

※条件、制度の詳細は本校事務局までお問い合わせください。

その他関連制度

■ 専門実践教育訓練給付金制度（社会人経験者の一部が対象）

入学金・授業料・教材費の最大70%を給付します。

詳しくは厚生労働省HP「教育訓練給付制度について」をご確認ください。

※給付金制度を検討される方は、願書提出前に本校事務局までお問い合わせください。

ユマニテク独自の特待生給付制度

名古屋ユマニテクは開校以来、1000人以上の歯科衛生士を輩出してきました。その歴史の中で、地域はもとより全国の歯科医院などから高い評価を得ています。

そして本年度より本校のさらなる教育内容の充実や未来の歯科衛生士への期待から支援いただいた歯科医院を本校のサポーターとし、名古屋ユマニテクサポーター特待生制度を設立することになりました。

経済的な問題で歯科衛生士への道を諦めざるを得ない学生に奨学金を支給し、意欲ある学生をバックアップ。歯科衛生士不足の解消を通じて、社会貢献できればと考えています。

名古屋ユマニテクサポーター特待生制度

選ばれた成績優秀者に対して、経済的なバックアップを行う本校独自の制度です。
選ばれた者については、他の在校生の模範となり、クラスを引っ張っていく事を期待します。

対象者	給付額
	35万円給付

2023年度生からの新制度

[2023年度生実績]
応募者数 / 10名
採用者数 / 3名

応募条件

- 2023年3月高等学校及び高等専修学校を卒業見込みの者、または卒業した者。
あるいはこれと同等以上の資格があると認められた者。
- 合格した場合、必ず本校へ入学する者（専願）。
- 本奨学金の趣旨を理解し、実践する意志のある者。

採用者数

3名

選考試験

学科試験による一次試験、グループディスカッションと面接による二次試験の二段階で選抜します。

試験種別	試験日程	試験科目	試験時間	合否通知
一次試験	2023年10月14日(土)	数学(Ⅰ・A) 理科(生物基礎) 国語(現代文)	13:15 ~ 受付開始 13:30 ~ 試験開始	1週間以内に 発送※
二次試験	2023年10月22日(日) ※一次試験合格者のみ	グループディスカッション 面接	8:45 ~ 受付開始 9:00 ~ 試験開始	1週間以内に 発送

※一次試験合格者のみに対し2023年10月18日(水)に電話にて連絡します。

応募方法

入学願書の所定項目にて、応募の有無をご記入ください。

その他

奨学金の給付は1年次の8月ごろを予定しています。ほかの各種減免制度と併用可能です。